

LS-8800 をご利用の皆様

LS-8800 リリースノート(Ver.2.62)

2025年 2月 25日

白山工業株式会社

この度、LS-8800 のファームウェアがバージョンアップされました。今回のバージョンアップでは機能変更と不具合修正を行っています。

今回のファームウェアから FPGA Version は 2 種類 (新 FPGA 用と旧 FPGA 用) になります。LS-8800-C S/N1515 からは新 FPGA 対応です。

新 FPGA の LS-8800-C に Ver.2.50 以前の旧ファームウェアをインストールすると正常に動作しませんのでご注意ください。

LS-8800-C へは、標準版 Ver.2.62/1KHz 版 Ver.1.11 以降をご使用ください。

■ ファームウェア構成

各ファームウェアのリビジョン

Firmware: 3286, FPGA: (旧)2716, (新)3261 I/O: 3284, Bootloader: 3267,

■ 機能変更

下記の 5 点について機能の変更を行いました。

1. GPS モジュール” GT-80” のロールオーバー対応

GT-80 は 2022/9/18 にロールオーバーが発生するため、電源投入時に 2022/9/18 を超えた日付を設定するように変更しました。

2. 部品変更に伴うファームウェア変更

新しく採用された部品に対応するためにファームウェアが変更されました。

型番 : LS-8800-C (S/N 1515 以降) から FPGA : (新)3261 となります。

ファイル数は 5 ファイルに増えています。ファームウェア Ver.2.20 以降の自動アップデート機能をご使用いただくことで、新・旧を意識することなくアップデートが完了します。

部品の変更により LS-8800-C(S/N1515 以降)から USB 機能はございません。

3. イベントログを SD カードへ出力する機能

Infomation メニューの[Event Log]画面に、[Output Text] と[Output Binary]の項目が追加されました。

保持できる最大数 8015 ログを出力する場合、Text は 8 分程度、Binary は 7 分程度の時間がかかります。測定中のデータが書き込まれるタイミングと重なった場合は 2 分程度余計に時間がかかる場合があります。

4. リアルタイムモニタをパソコンから制御する機能

リアルタイムモニタを使用する時に、LS-8800 本体のボタン操作で波形出力を制御していましたが、パソコン上の端末エミュレータソフトやデータ記録ツール (RtMonitor.exe Ver.1.04) から制御が出来るようになりました。

5. TP-8800 の ACT の送信速度の設定範囲の変更

重要 : TP-8800 F/W Ver.1.23(リビジョン 1264)と組み合わせてご使用ください

○これまでの設定範囲

下限 1Kbyte/sec~30Kbyte/sec 初期値 : 30Kbyte/sec

上限 30Kbyte/sec~100Kbyte/sec 初期値 : 100Kbyte/sec

※下限・上限のいずれも可変幅は 1Kbyte/sec

○今後の設定範囲

下限 0.1Kbyte/sec～12.0Kbyte/sec 初期値：0.1Kbyte/sec

上限 0.1Kbyte/sec～100.0Kbyte/sec 初期値：4.0Kbyte/sec

※下限・上限のいずれも可変幅は 0.1Kbyte/sec

下限値に 12.0Kbyte より大きな値が記述されている場合は 0.1Kbyte に置換えます。  
TP-8800 FW Ver.1.16(リビジョン 1191)との組み合わせで使用した場合、  
Web の動作が不安定になる事があります。  
TP-8800 FW Ver.1.23(リビジョン 1264)へアップデートをしてご使用ください。

■ 修正事項

下記の 4 点について修正を行いました。

1. 装置時刻と測定データのタイムスタンプが 2056 年になる不具合の修正

【発生 FW バージョン】 Ver.2.00～Ver.2.42

【現象】

日付と時刻の設定を行わない状態でタイムゾーンをマイナスにして測定を開始すると、装置の時刻と測定データのタイムスタンプが 2056 年になる不具合が発生します。

【対応】

初期設定の装置時刻とマイナスのタイムゾーンの組み合わせにすると、装置で行う時間管理の範囲を超えていた事が原因のため、初期設定の装置時刻を時間管理の範囲内に修正しました。

2. ” Shutdown Voltage ” の設定電圧値を超えても測定状態に遷移しない不具合の修正

【発生 FW バージョン】 Ver.2.00 以降

【現象】

” Shutdown Voltage ” の設定電圧値が +0.3V を超えても Standby 状態から Measurement 状態へ遷移しない不具合が発生します。

【対応】

電源電圧が上昇して設定電圧値が +0.3V を超えたときに、電源電圧が不安定な状態になると Standby 状態にとどまっていた。

設定電圧値が安定したことを確認して遷移が正しく行われるように修正しました。

3. ” Shutdown Voltage ” の設定電圧値を超えても特定条件の場合にセンサ電源を出力しない不具合の修正

【発生 FW バージョン】 Ver.2.50～Ver.2.60

【現象】

” Auto Start” の設定 OFF や SD カードが未挿入の状態では起動した場合にセンサ電源が出力されない不具合が発生します。

**【対応】**

” Shutdown Voltage” の設定電圧値を超えて測定が可能な電圧になった時に必ずセンサ電源が出力されるように修正しました。

4. TP-8800 を使用中に 100 分置きに LS-8800 が再起動する不具合の修正。

**【発生 FW バージョン】 Ver.2.40～Ver.2.42**

**【現象】**

下記の条件の時に 100 分おきに LS-8800 が再起動をしておりました。

- ・ TP-8800 を使用して測定している。
- ・ LS-8800 の SD カードに測定データが含まれていない過去に作られたフォルダが含まれている。
- ・ Data Overwrite の設定 ON

この時に削除対象ディレクトリの検索が異常終了して処理が止まっておりました。

**【対応】**

削除対象ディレクトリの検索が異常終了しても処理が解除されるように修正しました。

以上